

キリングループ
2013年12月期第2四半期決算

2013年8月1日
キリンホールディングス株式会社

エグゼクティブサマリー

- ✓ 上半期 対前年増収増益。売上高が過去最高
- ✓ 海外のトップライン成長が全社業績を牽引、国内では再成長に向けた取り組みを着実に推進
- ✓ 通期業績予想は、医薬事業の下方修正や子会社株式譲渡等により営業利益を修正するも、当期純利益は年初目標を堅持
- ✓ 中計方針に沿った株主還元施策を実行 ～平準化EPSの成長に応じた増配、自己株式の取得～

定量目標進捗

	2013. 2Q	対前年 増減	2013予 期央	対前年 増減	2013予 年初	対前年 増減
平準化EBITDA	1,388億円	4.9%	3,140億円	2.2%	3,160億円	2.8%
平準化EPS	51円	13.3%	123円	5.1%	121円	3.4%

第2四半期業績ハイライト

対前年増収増益 海外のトップライン成長が牽引

		2013年 (億円)	2012年 (億円)	対前年増減 (億円) (%)	
売上高	日本総合飲料	5,386	5,411	▲24	▲0.5
	海外総合飲料	3,472	2,927	544	18.6
	医薬・バイオケミカル	1,651	1,615	36	2.2
	その他	451	462	▲10	▲2.3
	売上高	10,962	10,416	545	5.2
営業利益	日本総合飲料	169	195	▲25	▲13.0
	海外総合飲料	163	117	46	39.7
	医薬・バイオケミカル	284	268	15	5.9
	その他	19	11	7	65.1
	営業利益	604	572	32	5.6
持分法による投資損益		9	▲1	10	-
経常利益		557	494	62	12.6
特別損益		452	5	446	7479.9
税金等調整前四半期純利益		1,009	500	508	101.6
四半期純利益		596	131	465	355.2

※2013年より報告セグメントの区分を変更

売上高・営業利益

- ✓ ライオンの大幅増収増益。酒類事業における販売数量増と商品ミックスの改善
- ✓ ブラジルキリンの販売数量増
- ✓ キリンビバレッジの販売数量増

営業外・特別損益

- ✓ フレイザー・アンド・ニーヴ社株式売却益を計上（特別利益462億円）

通期業績予想（期央修正）

医薬事業の下方修正や子会社株式譲渡等により営業利益を修正するも、当期純利益は年初目標を堅持

		2013年 (億円)	対年初増減 (億円)	対前年増減 (億円) (%)	
売上高	日本総合飲料	11,900	20	▲0	▲0.0
	海外総合飲料	7,040	270	1,269	22.0
	医薬・バイオケミカル	3,300	10	70	2.2
	その他	560	▲400	▲401	▲41.8
売上高		22,800	▲100	938	4.3
営業利益	日本総合飲料	595	▲10	▲94	▲13.7
	海外総合飲料	395	15	118	42.9
	医薬・バイオケミカル	540	▲40	▲15	▲2.7
	その他	40	▲10	2	5.8
営業利益		1,500	▲50	▲30	▲2.0
持分法による投資損益		4	48	11	—
経常利益		1,320	—	▲64	▲4.7
特別損益		360	▲50	408	—
税金等調整前当期純利益		1,680	▲50	344	25.8
当期純利益		900	—	338	60.1

<主な対年初増減要因>

✓ 売上高

① 海外総合飲料：

- ・ 為替影響（ライオン+155億円、ブラジルキリン+119億円） 他

② その他：

- ・ キリン協和フーズ▲400億円（下半期連結除外による影響） 他

✓ 営業利益

① 医薬・バイオケミカル：

- ・ 協和発酵キリン▲40億円（当初計画した技術収入の一部が次期計上となることの影響等）

② その他：

- ・ キリン協和フーズ▲15億円（下半期連結除外による影響） 他

※2013年より報告セグメントの区分を変更

参考：定量目標明細

■平準化EBITDA

(億円)

	2013年 2Q	2013年 期央	2013年 年初
営業利益	604	1,500	1,550
減価償却費	495	1,060	1,060
のれん償却額	240	484	467
持分法適用関連会社 からの受取配当金	48	97	83
平準化EBITDA	1,388	3,140	3,160

■平準化EPS

(億円)

	2013年 2Q	2013年 期央	2013年 年初
当期純利益	596	900	900
のれん等償却額	326	658	621
税金等調整後特別損益	▲432	▲388	▲353
平準化当期純利益 ①	490	1,170	1,167
期中平均株式数(千株) ②	956,063	950,748	961,497
平準化EPS ①÷②	51円	123円	121円

上半期総括および年間目標達成に向けた今後の課題

海外での順調な成長実現、国内は再成長に向けた取り組みを着実に推進

■日本：ブランド価値の向上に向けて

成果 中期的視点でのブランド強化に向けた新たな取り組みを着実に展開

課題 トップライン目標の達成と、環境変化によるコスト上昇の最小化

■オセアニア：売上反転・利益成長の加速に向けて

成果 好調な豪州酒類事業の牽引により増収増益を達成

課題 飲料事業における高付加価値戦略の継続推進と、全社横断によるコスト削減の徹底

■ブラジル：戦略的投資による収益拡大ステージに向けて

成果 主力ブランドを中心にお客様接点を着実に拡大、市場を上回る成長を実現

課題 最盛期におけるプレゼンスの最大化と、コストコントロールの徹底

日本総合飲料 上半期実績

ブランド強化に向けた新たな取り組みを着実に展開

(億円)

		2013年	2012年	対前年増減	対前年増減 (%)
売上高	麒麟ビール	3,336	3,448	▲111	▲3.2
	麒麟ビバレッジ	1,597	1,520	76	5.0
	メルシャン	312	323	▲10	▲3.3
	その他	140	119	21	18.0
		5,386	5,411	▲24	▲0.5
営業利益	麒麟ビール	168	193	▲24	▲12.7
	麒麟ビバレッジ	▲47	▲25	▲21	—
	メルシャン	0	5	▲4	▲90.4
	その他	47	22	25	112.5
		169	195	▲25	▲13.0

新しいブランドコミュニケーションによる飲用シーンの拡大



主力ブランドが活性化

- ・「麒麟一番搾り生ビール」大樽販売増
- ・「麒麟午後の紅茶」販売数量 対前年+4.0%

TOPICS!!

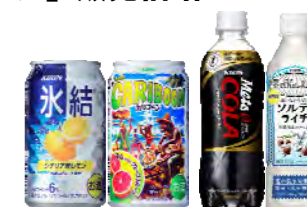


麒麟の挑戦。「澄みきり」好発進！

新ジャンルにおけるニュー・スタンダード提案。発売2ヶ月余りで240万箱を販売、年間販売目標の半分を達成。新ジャンル全体の販売トレンドも好転

成長カテゴリーにおける新しいお客様価値の創造

- ・「麒麟メッツコーラ」トクホ炭酸カテゴリーNo.1 ※
- ・「世界のキッチンから ソルティライチ」販売倍増
- ・RTD販売数量 対前年+5.3%



日本綜合飲料 通期見通し

重点ブランド強化によるトップライン目標の達成と、環境変化に伴うコスト上昇の最小化

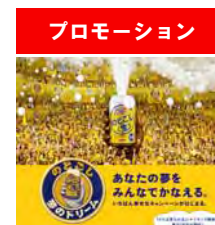
(億円)

		年間目標 (期央)	対年初増減	対前年増減	対前年増減 (%)
売上高	麒麟ビール	7,447	16	▲76	▲1.0
	麒麟ビバレッジ	3,514	1	145	4.3
	メルシャン	677	▲5	▲20	▲2.9
	その他	261	9	▲48	▲15.5
	売上高	11,900	20	▲0	▲0.0
営業利益	麒麟ビール	517	0	▲61	▲10.7
	麒麟ビバレッジ	8	▲8	▲31	▲79.7
	メルシャン	1	▲17	▲20	▲95.3
	その他	68	15	19	38.1
	営業利益	595	▲10	▲94	▲13.7

✓ のどごし<生>の販売トレンド改善



・広告と販促の連携を強化し、新ブランドコミュニケーションの効果を最大化



×



✓ お客様への新しい価値の提案を強化



✓ 円安による原材料コスト上昇への対応

- ・調達方法の継続的見直し
- ・製造原価、全社コスト等の見直し
- ・ワインの販売価格改定（9月）

✓ 重点ブランドの一層の強化



ライオン 上半期実績



おいしさを笑顔に
KIRIN

成長カテゴリーの強化により、対前年二桁増益を達成

		2013年		2012年		対前年増減		対前年増減（％）	
		億円	百万AUD	億円	百万AUD	億円	百万AUD	円ベース	AUDベース
売上高	酒類	1,315	1,445	986	1,197	328	247	33.3	20.7
	飲料	1,132	1,243	1,084	1,316	47	▲72	4.4	▲5.5
売上高		2,447	2,689	2,071	2,514	376	175	18.2	7.0
営業利益	酒類	373	409	266	323	106	86	40.0	26.7
	飲料	41	45	40	48	1	▲3	3.0	▲6.8
	本社費用	▲43	▲48	▲34	▲42	▲9	▲6		
営業利益		370	407	272	330	98	76	36.2	23.2
のれん償却額		▲150	▲164	▲127	▲154	▲22	▲10		
ブランド償却額		▲20	▲22	▲19	▲23	▲1	0		
のれん等償却後営業利益		199	219	125	152	74	67	59.0	44.0

連結期間：2012年10月～2013年3月

為替レート：91.01円（前年同期：82.38）



Craft Beer市場における
リーディングポジションの
確立



No.1
Dairy Beverage

酒類	営業利益増減 （百万豪ドル）	飲料
323	2012年	48
50	販売数量増減	▲21
36	その他	18
409	2013年	45

販売数量		
酒類	対前年	9.0%
飲料	対前年	▲5.8%

✓ **酒類事業：**
新規獲得ブランドの貢献等により、販売数量の増加と高価格帯への商品構成シフトを実現

✓ **飲料事業：**
高付加価値商品戦略により注力ブランドのシェアが拡大

ライオン 通期見通し

豪州酒類事業の牽引により全社目標達成へ

		年間目標（期央）		対年初増減		対前年増減		対前年増減（％）	
		億円	百万AUD	億円	百万AUD	億円	百万AUD	円ベース	AUDベース
売上高	酒類	2,489	2,677	135	61	591	350	31.2	15.1
	飲料	2,343	2,519	25	▲55	274	▲16	13.3	▲0.6
		4,833	5,197	161	5	866	334	21.9	6.9
営業利益	酒類	652	702	34	14	152	88	30.4	14.4
	飲料	97	104	▲20	▲26	22	12	30.0	14.0
	本社費用	▲100	▲107	8	12	▲21	▲10		
のれん償却額		▲306	▲329	▲10	▲0	▲54	▲20		
ブランド償却額		▲42	▲45	▲2	▲1	▲4	1		
のれん等償却後営業利益		300	323	9	▲0	94	70	46.1	28.1

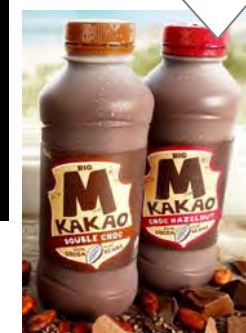
連結期間：2012年10月～2013年9月

為替レート：93.00円（前年同期：81.58）

- ✓ **酒類事業：**
 - ・主力ブランドと成長カテゴリー（海外プレミアム・クラフト）への注力による収益基盤の更なる強化
 - ・市場活性化に向けた新規提案
- ✓ **飲料事業：**
 - ・高付加価値商品ブランド強化と構造改革による収益性向上



家庭用ビールサーバー
“TAP KING”



Dairy Beverage
販売好調

ブラジルキリン 上半期実績



戦略的な費用投下によりブランド力を一層強化し、市場を上回る成長を実現

	2013年		2012年		対前年増減		対前年増減（％）	
	億円	百万リアル	億円	百万リアル	億円	百万リアル	円ペー-ス	リアルペー-ス
売上高	840	1,798	698	1,627	141	170	20.3	10.5
営業利益	1	3	30	71	▲29	▲68	▲95.2	▲95.6
のれん償却額	▲27	▲59	▲48	▲112	20	52		
ブランド償却額	▲16	▲34	—	—	▲16	▲34		
のれん等償却後営業利益	▲42	▲91	▲17	▲41	▲24	▲49	—	—
EBITDA	78	167	73	172	5	▲5	6.8	▲2.9

・連結期間：2013年1月～6月 ・為替レート：46.72円（前年同期：42.91）

・営業利益（のれん・ブランド償却前）：ブラジル会計基準に基づく資産・負債の再評価に伴う減価償却費増 ▲約40百万リアル

（参考）売上高明細

（百万リアル）

	2013年	2012年	対前年増減	
酒類	1,096	1,088	8	0.7％
飲料	317	312	5	1.6％

販売状況

ビール：一桁半ば（％）の増加

飲料：一桁前半（％）の増加

※制度会計上含まれる税金等を除く管理会計ベース

※2013年1月より管理方法を変更。今期ペー-スによる対2012年売上高増減率は、制度会計ベースとほぼ同率

- ✓ 主力ブランドを中心にお客様接点を拡大 ～NOVA SCHIN、DEVASSA、SCHIN NO GRAU、SCHIN、Skinka～
- ✓ サプライチェーンの更なる効率化を実現



（新ライン増設により缶需要拡大に対応）



ブラジルキリン 通期見通し

一層の販売強化とコストコントロールの徹底により年初利益目標達成へ

	年間目標（期央）		対年初増減		対前年増減		対前年増減（％）	
	億円	百万レアル	億円	百万レアル	億円	百万レアル	円ベース	レアルベース
売上高	1,835	3,990	66	▲122	347	366	23.3	10.1
営業利益	167	364	10	—	37	46	28.5	14.8
のれん償却額	▲54	▲118	▲3	—	▲5	—		
ブランド償却額	▲32	▲69	▲2	—	▲3	—		
のれん等償却後営業利益	80	175	5	—	27	46	52.8	36.4
EBITDA	308	670	20	—	68	69	28.3	11.3

連結期間：2013年1月～12月 為替レート：46.00円（前年同期：41.08）

（参考）売上高明細

（百万レアル）

	2013年	2012年	対前年増減	
酒類	2,586	2,536	50	2.0%
飲料	728	706	22	3.1%

※制度会計上含まれる税金等を除く管理会計ベース

※2013年1月より管理方法を変更。今期ベースによる対2012年売上高増減率は、制度会計ベースとほぼ同率

- ✓ 最盛期（12月：夏）におけるプレゼンス最大化に向け、商品価値を伝える営業活動を一層強化
- ✓ 販売目標修正に伴う売上総利益減少分はコストコントロールによりカバー
- ✓ 製造原価の低減、サプライチェーン効率化にむけた中期的取り組みは、引き続き計画どおりに実行

医薬・バイオケミカル事業

増収増益 国内医薬品の販売が堅調に推移、海外においても主力製品が伸長

		2 Q実績			年間目標（期央）			
		億円	対前年増減	対前年増減（％）	億円	対年初増減	対前年増減	対前年増減（％）
売上高	医薬	1,292	22	1.8	2,568	▲19	▲12	▲0.5
	バイオケミカル	405	11	3.0	822	29	70	9.4
		1,651	36	2.2	3,300	10	70	2.2
営業利益	医薬	241	5	2.5	450	▲42	▲57	▲11.3
	バイオケミカル	31	10	52.1	60	2	38	182.0
		284	15	5.9	540	▲40	▲15	▲2.7

- ✓ 海外では、プロストラカン社の主力製品が順調に伸長
- ✓ R & D も順調。新薬は5月にパーキンソン病治療剤「ノウリアスト」を発売。下半期には7月に2型糖尿病治療剤「オングリザ」を発売
- ✓ バイオケミカル事業は、為替の円安進行もあり、増収増益
- ✓ 技術収入の一部が来期計上見通しとなること等から、通期営業利益見通しを修正

おいしさを笑顔に

KIRIN

この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation or offer to buy or
sell securities or related financial instruments.